

2014年10月2日

広島市長 松井一實 様

日本共産党市会議員団

中原 ひろみ

村上 あつ子

近松 さと子

日本共産党安佐南区委員会

藤井 とし子

突田 守生

日本共産党安佐北区委員会

清水 てい子

## 8・20土砂災害被害に対応を求める緊急要望書

災害への対応と復興に向けて奮闘しておられることに敬意を表します。私たちが、被災地域の方々からいただいたご意見や要望の中で、急いで対応すべき問題がありましたので、とりあえず以下の要望をお届けします。早急な対応をお願いします。

1. 自主避難の方や1次避難所から2次避難所に移られている被災者の皆さんが、いつでも罹災証明を示せば、支援物資が受け取れるように、避難所とは別に区役所内などで支援物資を受け取れる場所を設置していただきたい。また、被災者の方にはわかるように新聞やテレビを使って広報周知していただきたい。
2. 避難所の食事の改善の要望がありました。朝は菓子パン、昼はおむすび2個、夜はお弁当と1か月以上おなじ食事が続いています。栄養バランス的にも問題です。避難生活が長期に及んでおり、避難者の体調を考えた食事に改善していただきたい。
3. 義援金について

義援金の受け取り対象は床下への土砂流入以上という線引きは見直してください。義援金は全国から届いた見舞いの気持ちを込めた善意のお金です。被災者全員に届くよう

配分をしてください。床下への土砂流入がなくても、自動車、バイク、自転車の破損、畑、農地への土砂流入、エアコンの故障、ボイラーの故障などの被害を受けた世帯も多く、大変な負担をされています。また、被災された事業者も対象から除外されています。こういった方々にも義援金が届くようにすべきです。

4、多くのボランティアさんの協力で土砂の撤去が進んでいます。困難になっているのは、床下の土砂の撤去です。専門的なスタッフによる支援が望まれます。専門的なスタッフによるボランティアの組織と、被災者が依頼できるような情報提供をお願いします。

5、土石流により家屋が壊れ、肉親が亡くなった被災者が、精神的なショックや雨への恐怖心を訴えています。長期の避難生活のため健康への負担も深刻です。被災者への健康面への対策が急務です。特に子どもたちの PTSD 対策をすすめてください。